

3.11震災に学ぶ 備えあれば

NPO法人 全国GIS技術研究会

関東甲信越東海GIS技術研究会

平成 23 年 3 月 11 日 東日本震災は（地震・津波）旭市飯岡海岸に津波として押し寄せ一瞬の間によって流されてしまった家屋や多くの施設、また 古くからの建造物（重要な）しかし、「がれき」として扱われすべてを無くしてしまった。地域住民はその後仮設住宅での暮らしに追いやられ、その暮らしなど復興に向けての取り組みの状況調査を解説。我孫子市・浦安市においては液状化現象により、家屋損壊及び道路・水道・下水等多くの被災に見舞われており、その被害状況等について平時に作り上げた「共用空間データを活用」し対応することができました。県内においての被災状況を知り、私たちが日頃どのような対応を備えるべきかを考える機会とし、仕事を通じて養ってきた測量技術と地域を知り尽くした地の利によって「いざ」という時の一助になれるように地域セミナーを企画いたしました。これを機に、行政・地元業者・地域住民との更なる連携により「みんなで地域を守っていきましょう。」

開催内容のご案内

- 主催者挨拶 地理空間情報活用促進セミナー
in 千葉実行委員長 河名 洋一
- 来賓挨拶 国土交通省国土地理院関東地方
測量部長 宇根 寛 氏
- 基 調 講 演
「新しい基本計画と基盤地図情報の活用促進」
国土交通省国土地理院関東地方測量部
地理空間情報管理官 田山 裕二 氏
「3.11 被災状況(液状化)とその復興に対応」
我孫子市 都市部
布佐東部地区復興対策室 渡辺 昌則 氏
「共用空間データの重要性と震災時での活用」
浦安市 市長公室 企画政策課行政経営室
室長 醍醐 恵二 氏
「津波第一波その時。。震災の復興に思う」
千葉県立東総工業高等学校 建設科

平成 24 年 12 月 3 日(月) 13:15～16:45

会場: 館山市コミュニティーセンター 1F会議室

参加料 : **無料(定員 100 名)**

※対象者: 県内自治体担当者 50 名以上、業務担当者 40 名
以上、合計 90 名以上予定

※本セミナーは、「測量CPDポイント」及び「GIS教育認定講座」に認定されています。

参加申し込み:

参加申し込み用紙に必要事項を記入し、FAX及び
E-mailにてお申込みをお願いします。

【主催】 NPO法人全国GIS技術研究会 関東甲信越東海GIS技術研究会 千葉県支部

【共催】 財団法人 日本地図センター、一般社団法人 地理情報システム学会

【後援】 国土地理院 関東地方測量部

【運営】 地理空間情報活用促進セミナー 2012 in 千葉実行委員会

株式会社サンレックス・ケーエスコンサルタント株式会社・あびこ測量株式会社・西山測量株式会社・
株式会社ゆたか測量・株式会社つくも・株式会社千葉測器

開催テーマ「3.11 震災に学ぶ 備えあれば」

開催報告書

地理空間情報活用促進セミナー 2012 in 千葉開催に当たり、国土地理院 関東地方測量部 部長 宇根 様を来賓に迎え、ご講演を頂き開催することができました。

このセミナーは、東日本震災を教訓に南海・東南海トラフ地震予知による津波の高さが変更され、千葉県館山市では 11mと発表され防災に対する更なる対策と対応についての意識とその防災に対応したG空間活用を目的に富津市・鋸南町・南房総市・館山市・鴨川市（4市1町）、千葉県の出先機関（安房管内）安房土木事務所・安房農業事務所・南部漁港事務所・安房高等学校、君津・木更津・安房・いすみ地区の測量業者の参加を頂き、開催することができました。

参加者総数：62 名

【日 時】

平成 24 年 12 月 3 日（月）13：15～16：45

【場 所】

館山市コミュニティーセンター（中央公民館）
1 階会議室

【主 催】

地理空間情報活用促進セミナー in 千葉実行委員会

【共 催】

財産法人 日本地図センター
一般社団法人 地理情報システム学会

【後 援】

国土地理院 関東地方測量部

【運 営】

NPO法人関東甲信越東海GIS技術研究会
千葉県支部 セミナー実香委員会
あびこ測量株式会社
ケーエス・コンサルタント株式会社
株式会社サンレックス
株式会社つくも
西山測量株式会社
株式会社ゆたか測量

《開催プログラム》

【開 会】

セミナー実行委員長 河名 洋一



本日開催の「防災に関するセミナー」に年末のお忙しい中、多くの方々の参加を頂き開催でき、深く感謝申し上げます。

私たちの活動は、全国組織でありその中で全国を6ブロックに分け、関東甲信越東海をエリアとして地理情報システムの基本と応用またその情報を操作するためのデータベースについての勉強会の開催や、関東甲信越東海エリア内でのセミナー開催（地域支援活動）を行っております。この防災セミナーにより、行政・測量業者が実際に震災を受けた地域の方々の講演を聞き意識の高揚と対応について学んで頂きたいと存じます。本日は、誠にありがとうございます。

【来賓挨拶と講演】 13:20～13:50

=== 地理空間活用に向けた連携の強化 ===
国土地理院関東地方測量部長
宇根 寛 氏



国土地理院の取り組みは、利用者に価値ある使いやすい地図の提供をめざしています。

基盤となる地図空間情報の整備・更新・提供
活用される環境の整備。

国内外の幅広い連携により地理空間情報の活用推進に取り組んでおります。また、安房土木事務所より提供された平成23年度 県道184号 外野勝山線のデータの敏速な更新など、国と地方の連携・産官学の連携について講演をして頂きました。

【講演1】 13:50～14:20

新しい基本計画と基盤地図情報の活用促進
国土地理院関東地方測量部地理空間情報管理官
田山 裕二 氏



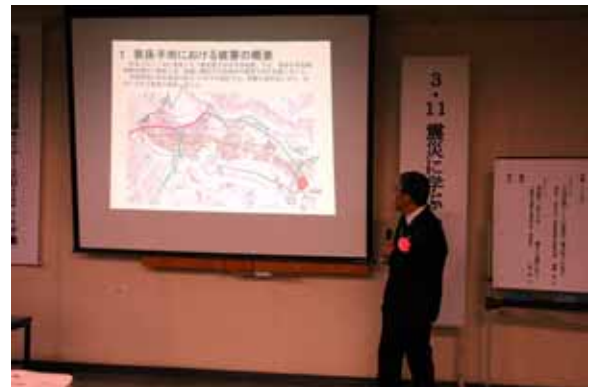
新たな基本計画における4つの基本的方針

- ・ 社会的ニーズに応じた持続的な地理空間情報の整備と新たな活用への対応
- ・ 実用順天頂衛星システムの整備、利活用及び海外展開
- ・ 地理空間情報の社会へのより深い浸透と定着
- ・ 東日本大震災からの復興災害に強く維持可能な国土づくりへの貢献について講演を頂きました。
- ・

【講演2】 14:20～14:50

3.11 被災状況(液状化)とその復興に対応

我孫子市都市部 布佐東部地区復興対策室長
渡辺 昌則 氏



我孫子市における被災状況は、市域東端の布佐東部の約12.5ヘクタールの地区では、地盤の液状化により、住宅に大きな被害が発生しました。

特に被害が大きかった場所は、明治3年の利根川の氾濫によって出来た沼(切所沼=きれしょぬま)とその周辺の池や湿地の跡地だったことが判明しました。

復興に向けての状況

再液状化の不安から従前地での住宅再建を断念する被災者が多い

被災した宅地の土地利用が進まない⇒被災住宅の取り壊しが進まない

一時的な避難生活を送っている被災者の多くは、将来の生活再建の見通しがたっていない

布佐東部地区現地事務所の開設(2011年7月)をし、復興通信の発行(2011年10月～)を行って対応を行っている。

【講演 3】 15:00～16:00

共用空間データの重要性と震災時での活用

浦安市 市長公室 企画政策課行政経営室長

醍醐 恵二 氏



浦安市のGIS (地理情報) への取り組み

個別期:平成元年から平成7年

道路台帳図のデジタル化・都市計画情報のデジタル化
土地家屋所有者のデジタル化を行った。

基盤形成期:平成9年～平成12年

普及期:平成13年～平成16年

活用期へと取り組んでいます。

共用空間データベースでの利用は、建築指導支援・国勢調査での活用・消防指令システムなどに利用されています。

3.11 被災地の土地利用の状況 (GISによる)



GISにより被災状況の把握は、各種情報を重ね合わせによる分析を行った。

(液状化可能性分布図と建物被害)

人口流動

浦安市と市川市 (広域行政)

浦安市から市川市に移り住んだ位置を地図上にまた、そのアンケート調査なども実施。

GISを活用した災害対応など更に取り組んでまいります。

【講演 4】 16:00～16:40

津波第一波その時。。。震災の復興に思う

千葉県立東総工業高等学校 建設科長

小島 聡 氏



3月11日、旭市飯岡を襲った津波その第1波は午後3時45分頃、道路が濡れた程度であったが、第2波は高さ5mの堤防に激しくぶつかり、最大波は5時すぎで海岸沿いの町を飲み込んだ。

当日の会場には、生徒と作成したパネルが6枚展示され津波による堤防を越える様子などを見ることができた。また、被災した寺 (半壊) で重要なものまで廃棄処分され、平時にそれらの重要な建築物なども記録に残しておくべきだったと語った。

復興に向けた仮設住宅 (プレハブ) は、昔ながらの建物の配列 (刑務所) など、支援については、物品の取扱いとして提供されたため、室内には釘1本も打つことができないなど仮設住宅の問題点等もある。

説明資料と同時に多くのビデオデータが記録されており、時折ビデオデータを流しながら説明をして頂きました。



写真パネルの展示



会場及び参加者の様子



津波の第1波の押し寄せる状況（ビデオ）

【謝 辞】 16 ; 50

セミナー実行委員（監事）浅倉 文雄



参加者へのお礼を述べ教育関係者の出席を頂き、子供たちの安全安心の確保をお願いしてお礼の挨拶を述べました。

連携と共有が重要

GIS活用へ 館山でセミナー開催

技術研究会県支部

NPO法人全国GIS技術研究会関東甲信越支部(河名祥一支部長)は3日、「地理空間情報活用促進セミナー」のテーマ「GIS活用と防災」を館山市コミュニティセンターで開催した。昨年3月に発生した東日本大震災で得た教訓から、GIS(地理情報システム)や測量技術を活用して防災に役立てようとする。当日は、県や周辺自治体関係者、測量業者60人ほどが参加。国土地理院や県内被災自治体の職員が講演に耳を傾けた。



河名支部長(左)と河名支部長(右)が講演中。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。



河名支部長

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

河名支部長は、主権者を代表して河名支部長があいさつ。多くの参加者に感謝の気持ちを伝えるとともに、日頃の活動内容を紹介し、GISの普及促進や測量技術の調査・研究を目的に、システム構築や全国統括セミナーを開催している旨を報告した。

G I S活用と地域連携で災害対応を

NPO法人全国GIS技術研究会がセミナー 測量技術者から空間情報技術者へシフト

NPO法人全国GIS技術研究会関東甲信越東海GIS技術研究会千葉県支部(河名洋一支部長)は3日、館山市コミュニティセンター会議室において、地理空間情報活用促進セミナー2012 in 千葉「3.11震災に学ぶ 備えあれば」を開催し、自治体担当者や業務担当者など62人が受講した。

セミナーでは、東日本大震災における被災者の暮らしや復興に向けての取り組み状況調査などを各講師が解説。

このうち、我孫子市・浦安市においては液状化現象など多くの被災に見舞われたが、被害状況等について共有空間データを活用し迅速に対応。

これらを受け、今回のセミナーでは、日頃からの備えや、発災時にどのような対応をとるべきかを考えることを目

的とし、5人の講師がそれぞれのテーマに沿って講演した。

主催者を代表してあいさつした河名支部長は、関東甲信越東海地域GIS研究会の日頃の活動について説明し、年1回全国縦断セミナーを行っていることを報告。

今回の開催地である館山市については、「東南海トラフの地震予測によると同市では、最大11メートルの津波が想定されているが『被災は常に想定外』という意識を元に危機を感じ、この場を選定した」と説明。

「観光地であるため、高い防潮堤を海岸線に張り巡らす訳にはいかない」としたうえで、「市民を救うためには行政と住民の双方がコミュニケーションをとり、どのように避難したら良いのか、

まずはそこから始めるべき」と強調。

また、北海道や大阪、市川市では、地元の業者が資料収集をし、手作りのGISを作成している旨を説明し、「自分たちで作成することにより対応、応用が出来る。このセミナーを受講し、本日からまた新たな防災を見直し、今後更なる支援活動をしていこう」と述べ、あいさつを結んだ。

来賓あいさつでは、国土交通省国土地理院関東地方測量部長の宇根寛測量氏が「地理空間情報を活用するためには地域の産学官、特に官民の皆さんが協力をし、地に足をつけながら実行していくことが非常に重要である」と強調した。

以下、講演における▽テーマ＝講師名

▽「地理空間情報活用に向けた連携の強化」＝宇根寛・測量部長

▽「新しい基本計画と基盤地図情報の活用促進」＝田山裕二・地理空間情報管理官(国土交通省国土地理院関東地方測量部)

▽「3.11被災状況(液状化)とその復興に対応」＝渡辺昌則・室長(我孫子市都市部布佐東部地区復興対策室)

▽「共有空間データの重要性和震災時での活用」＝醍醐恵二・室長(浦安市市長公室企画政策課行政経営室)

▽「津波第一波その時。震災の復興に思う」＝小島聡・建設科科长(県立東総工業高等学校)

【共催】▽財団法人日本地図センター
▽(一社)地理情報システム学会

【後援】▽国土地理院関東地方測量部

【運営】▽地理空間情報活用促進セミナー2012 in 千葉実行委員会▽(株)サンレックス▽ケーエスコンサルタント(株)▽あびこ測量(株)▽西山測量(株)▽(株)ゆたか測量▽(株)つくも▽(株)千葉測器

それぞれの講演の内容については、今後、5回にわたって連載します。



河名洋一氏

宇根 寛氏

田山裕二氏

渡辺昌則氏

醍醐恵二氏

小島 聡氏